



尼崎21世紀の森づくり行動計画

～森と水と人が共生する環境創造のまち～



1. 尼崎21世紀の森構想 ~森と水と人が共生する環境創造のまち~

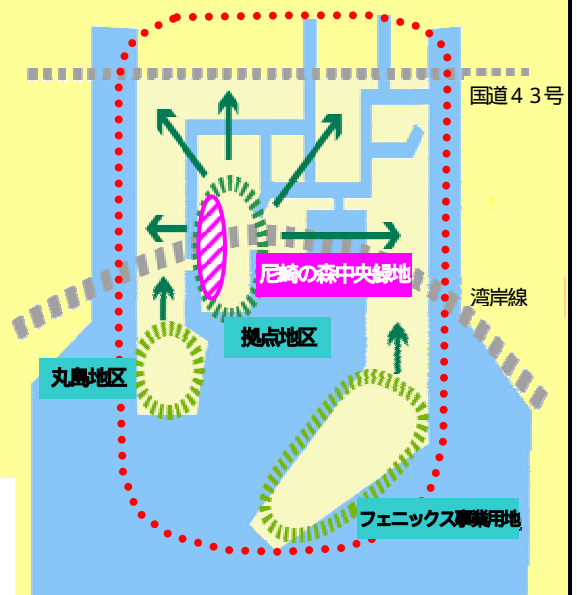
尼崎臨海地域は、重化学工業を中心に、日本の産業経済をリードしてきましたが、近代化の過程でかけがいのない自然を失うとともに、環境面での課題を抱えています。また、近年の産業構造の変化等により工場等の遊休地が発生するなど、地域の活力が低下し、その再生が急務になっています。

そこで、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりをめざした「尼崎21世紀の森構想」が平成14年3月に策定されました。この、「環境の世紀」を先導するまちづくりのモデルを尼崎から世界に発信していきます。

まちづくりの展開方向

- 環境の回復・創造、美しい風景の創出
- 活力ある都市の再生
- 既存産業の育成・高度化と新産業の創造
- 豊かな人間性を育み、エコライフスタイルを創造するまちづくり
- すべての主体の参画と協働による交流型のまちづくり

尼崎21世紀の森構想対象区域 (国道43号以南約1,000m²)

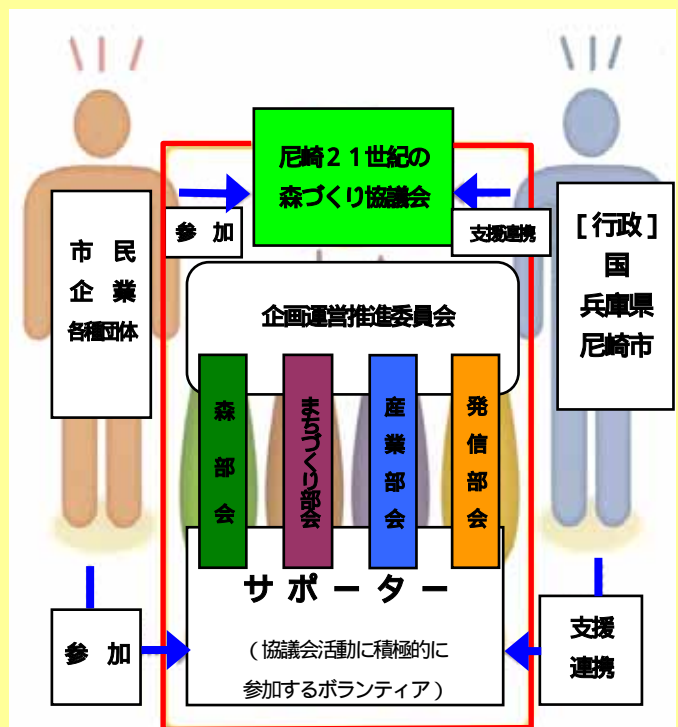


拠点地区、丸島地区、フェニックス事業用地を先導整備地区として位置づけ、この地区の重点的整備により、地域全体に波及させていきます。

2. 尼崎21世紀の森づくり協議会

尼崎21世紀の森構想の推進にあたっては、市民をはじめあらゆる主体の参画と協働により取り組みます。

そのため市民、企業、各種団体、学識者等からなる「尼崎21世紀の森づくり協議会」が平成14年8月に設置されました。協議会の中には、「森」、「まちづくり」、「産業」、「発信」の4部会を設け、森づくり・まちづくりに向けた活動を始めています。



3 . 尼崎 2 1 世紀の森づくり行動計画

尼崎 2 1 世紀の森構想の理念を具体化するため、その道標として、市民、企業、行政などが一緒に進めていくプログラムです。皆でその実現へのプロセスを共有しながら、尼崎 2 1 世紀の森の取組を進めていきましょう。

(1) 森構想の理念を共有し、その実現に向けた取組の方向性を示し、提案するものです。

(目標年次 100 年にわたる長期的な計画であることから、短期的なものについては取組内容を明らかにし、中長期的なものについては方針や見通しを示します)

(2) あらゆる主体(市民、企業、民間団体、行政など)が自主的に、あるいは連携・協力して取組んでいく上での指針となるものです。

(3) 社会状況の変化や森づくり・まちづくりの取組の進捗等に応じて、随時見直しを行いながら、森構想の理念の実現を目指すものです。

【尼崎 2 1 世紀の森づくりの理念】

私たちが誇りとする尼崎臨海地域を魅力と活力ある、元気で美しいまちに再生するため、「森と水と人が共生する環境創造のまち」として世界に発信していきます。

美しさ・・・

かつて、「茅渟(ちぬ)の海」と言われた素晴らしい海と、葦(よし)に覆われ夕日、入日に映える海辺の風景を持ったまち

「環境の世紀」といわれる 2 1 世紀を迎え、失われた自然環境の回復・創造と沿岸域の健全な発展を実現していく。

元気さ・・・

かつて、時代の要請を受け、阪神工業地帯の一翼を担い、我が国の産業経済の発展をリードしてきたまち

産業構造の変化等により、工場等の遊休地が発生するなど、地域の活力が低下してきていることから、地域活力再生にむけて取組む。

誇り・・・

「美しさ」、「元気さ」、「歴史」は私たち地域の誇りであり、再認識・再発見する。

発信・・・

「誇り」をある尼崎臨海地域の、「美しさ」「元気さ」を再生する取組を尼崎から世界に「発信」し続ける。

行動計画 の概要



全体を見渡して戦略的に取り組みます！

- ・尼崎の森中央緑地の森づくり（「つくる」「まもる」「つかう」）
- ・まち交流拠点、産業の育成・支援拠点におけるまちづくり
- ・のじぎく兵庫国体に向けた美しいまちづくり
- ・参画と協働による森構想推進の体制づくり

環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組



先導整備地区での森づくりを提案・実践します。

- ・尼崎の森中央緑地・丸島地区、フェニックス事業用地などの森づくり（「つくる」「まもる」「つかう」）を実践します。

みどり（森）の多面的機能を活用したまちづくりを実践します。

- ・学校や工場でのみどりの保全・創出、「尼のみどり文化」を発掘・発信し、尼崎らしさと良好なまちなみ景観、地域コミュニティづくりを提案・実践します。

森づくりを支える循環型の仕組みづくりを行います。

- ・森づくりにあたって水、土壌、種子・苗について、循環型の仕組みづくりを行います。

森づくりの輪を拡げます。

- ・地元や既存ボランティア団体との連携によるみどりづくりや小中高大学でのみどりの学習を実践し、将来の森づくりを担う人材を育成します。
- ・森づくりの効果を検証するためのデータ観測を行います。

今こんなことに取り組んでいます！

市内外の森づくりの見学会、工場敷地でのピオトープづくり、のじぎく兵庫国体開催（平成18年秋）に向け美しい沿道景観を創り出す緑化・花飾り活動などを行います！



活力ある都市の再生に向けた取組



人々の暮らしや活動を盛り込んだ地域の将来像を考え、提案します。

- ・地域の状況や既存のまちづくりの計画を調べ学んでいきます。
- ・工場を含めたまちの景観づくり、水辺の再生や水質の改善に向けた取組を実践していきます。
- ・臨海地域へ行きやすくなるようなアクセス方法等の検討を行います。

地元住民、市民、事業者、行政など、みんながまちづくりに参加できるプログラムを提案・実践します。

- ・地元住民、地縁組織、工場、企業、行政など、まちづくりに関わる人々が連携できる機会づくりに取り組みます。
- ・臨海地域にある産業遺産や運河などの地域資源を活用したイベント等を通じて、にぎわいを生み出しながら、生活文化の創出、発信を行います。

今こんなことに取り組んでいます！

まち歩きを実践。それにもとづいた地域の将来像（こんな風になればいいな～）づくりとまちをよく知るイベントなど、にぎわいづくりを検討しています！



既存産業の育成・高度化と新産業の育成に向けた取組



森と産業が共生するまちづくりを推進します。

- ・産業遺産などの地域資源を掘り起こし、地域の歴史を学び、これらを活用したまちづくりを進めていきます。
- ・尼崎が蓄積してきた環境技術の活用や新たな環境技術の開発などにより、地域環境の回復・改善を進めていきます。

森を活かした産業活性化の仕掛けづくりを行います。

- ・水素や太陽光、風力、バイオマスなど新たな環境・エネルギー産業の振興を目指す「尼崎エコ・インダストリアル・パーク（EIP）」の立案に取り組みます。
- ・公的・民間研究所や企業の集積を活かした「研究所ネットワーク」を構想し、森を活かした新たな産業の創出を進めていきます。
- ・産業活性化の制度を検討したり、多様な連携体制の整備など、産業支援の仕組みについて検討・提案するコーディネートを進めていきます。

今こんなことに取り組んでいます！

企業へのアンケートや、水素を活用したエコ・エネルギーパーク、剪定枝を有効活用するグリーン系ビジネスなどを検討しています！



気運の醸成に向けた取組



尼崎21世紀の森の取組を盛り上げ、森構想全体の気運の醸成をめざします。

- ・地域への愛着、誇りを生み出すようなコミュニティのイメージ戦略であるC I（コミュニティ・アイデンティティ）計画を作成します。
- ・ニュースレターやホームページ、PRグッズの作成など、広報（PR）計画を作成・実施します。
- ・ボランティア登録制度やプラットフォーム（意見・情報交換）の場の機能の確立と運営など、市民、専門家、企業等、みんなが参画するしくみづくりを行います。
- ・データベースや学習会、研修会を開催するなど、情報蓄積・共有のしくみづくりを行います。
- ・グッズの物販と資金確保など、各部会活動を支援します。



今こんなことに取り組んでいます！

尼崎21世紀の森らしさの発掘、情報交流誌「あまあまボン！」の発行、ホームページで情報発信。活動の輪を拡げるフォーラムや楽しいイベントの企画などを行っています！





尼崎 21世紀の森づくり協議会